
せかいいさん
世界遺産
とみおかせいしじょう
富岡製糸場
と
きぬさんぎょういさんぐん
絹産業遺産群
国際連合教育科学文化機関
富岡製糸場と絹産業遺産群
世界遺産登録年:2014年
ぐんまけん
群馬県

世界遺産ってなあに？

世界遺産は、世界のいろいろな場所にある大切な建物や遺産、自然などをみんなの宝物として守っていくためのものです。世界中に、１０００件をこえるたくさんの世界遺産があります。

どうすれば世界遺産になるの？

国が世界遺産にしたいものを決める。

国が世界遺産にするようにユネスコに推薦する。

ユネスコが世界遺産に登録するかどうか決める。

世界遺産ってどんなものがあるの？

世界遺産には、お城やお寺、むかしのまちなみ、山や川、絶滅しそうな動物の住む場所などがあります。



エジプトのピラミッド



フランスのモン・サン・ミッシェル

日本にはどんな世界遺産があるの？

日本には、令和６年７月時点で26件の世界遺産があります。姫路城や原爆ドーム、屋久島、白神山地などです。



広島県の原爆ドーム



兵庫県の姫路城

めちしき

【ユネスコ（UNESCO）】…国際連合教育科学文化機関。教育と文化と科学を通じて世界平和に貢献するための組織です。

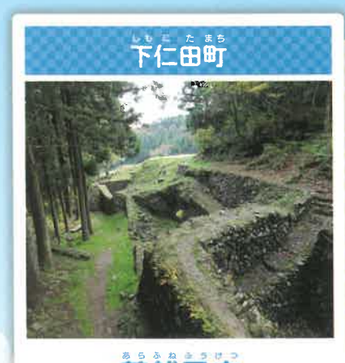
富岡製糸場と絹産業遺産群はなぜ世界遺産なの？

明治時代、日本は質の良い生糸をたくさんつくろうと考え、絹産業の近代化をめざしました。

富岡製糸場は、全国の器械製糸のお手本となるよう、外国の技術を取り入れ、日本に合わせた工夫を加えて建てられました。その製糸技術は常に最先端であり続けました。田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴は、カイコの飼い方や卵の貯え方を工夫して新しい技術を生み出しました。

生糸は、むかしはたくさんつくれず、絹の製品はお金持ちや身分の高い人たちのものとされていました。しかし、日本の技術が世界中に広まると、一般の人も絹が使えるようになり、いろいろなファッションを楽しめるようになりました。

質の良い生糸をたくさんつくる技術を開発したこと、その技術を世界に広めたことを今に伝えるのが「富岡製糸場と絹産業遺産群」です。







絹の歴史を見てみよう

絹の生産は今から5000年くらい前に中国で始まり世界中に広まりました。日本には2000年くらい前に伝わり、江戸時代の中頃から、生糸を作る量が急に増えました。

特に群馬県では、養蚕・製糸が盛んになり、技術も発展しました。江戸時代の終わりに、外国との貿易が始まると、ヨーロッパでカイコの病気が広がっていたことも重なり、生糸は日本の最大の輸出品になりました。

そこに目をつけた明治政府は、1872(明治5)年に最新式の製糸器械を備えた富岡製糸場を富岡市につくり、質の良い生糸の作り方の手本を示すことにしました。富岡製糸場と絹産業遺産群が協力して、良い生糸をたくさんつくる技術を発展させました。

年代	世界	日本	群馬県
紀元前3000年(5000年前)	中国で絹生産始まる		
紀元前後(2000年前)		中国から養蚕・製糸技術が伝わる	
～			
17世紀	イタリア・フランスを中心とする養蚕・製糸地帯が形成		
18世紀		1713 幕府の奨励により本州中央部で生糸生産が盛んになる	
19世紀	初頭 フランスで蒸気式器械製糸工場ができる		
	1840年代 ヨーロッパでカイコの病気が流行		
		1859 外国へ生糸の輸出開始	
			1863 田島弥平が住居兼蚕室を建設「清涼育」の大成
		1872 富岡製糸場 創業	
			1883 高山長五郎「清温育」を開発
			1884 養蚕を教える学校として高山社ができる
			1891 高山社、住居兼蚕室を建設
20世紀			1905 荒船風穴（1号風穴）稼働
	1909 日本が世界一の生糸輸出国となる		
			1912～ 富岡製糸場、田島家、高山社、荒船風穴が良いまゆをつくるために連携
			1927 高山社廃校
			1935 荒船風穴営業停止
		1952 自動繰糸機の実用化に成功	1952 富岡製糸場、自動繰糸機導入
			1960 田島家・高山社この頃まで養蚕
	後半 日本からの技術移転により、中国やブラジル、インドで生糸生産が盛んになる	後半 世界に自動繰糸機を輸出	1987 富岡製糸場操業停止

絹織物ができるまで



養蚕

カイコを育て、まゆをつくらせます。


カイコの卵


桑を食べるカイコ


まゆ

製糸

まゆから生糸をつくります。


座繰り
※手で生糸をつくることを座繰りといいます。


自動繰糸機
※繰糸機が自動になって、生糸を大量につくれるようになりました。


生糸

織物

生糸を染め、生地を織ります。




織っている様子


ネクタイ


ストール


スカーフ



きめちしき

【養蚕は2種類】…生糸をとるための養蚕と、カイコの卵をとるための養蚕の2つの養蚕があります。

Q 富岡製糸場ってどんなところ？





A 日本で最初の本格的器械製糸工場





とても大きな工場だね

もっとくわしく

富岡製糸場に見学に行って探してみよう。





キーストーン

東置繭所のアーチの真ん中にある石です。富岡製糸場がつくられた「明治5年」という文字が刻まれています。



レンガの積み方と印

レンガの長い面と短い面を1つおきに並べる積み方をフランス積みといいます。フランス人に教えてもらいレンガを焼いた日本の職人さんたちがつけた印も残っています。



トラス構造

繰糸所に入ったら上の方を見てみよう。太い柱で三角形をつくって屋根を支えています。このトラス構造というつくりによって、真ん中に柱を建てることなく、広い空間をつくることができました。

富岡製糸場は、1872(明治5)年に本格的な器械製糸工場として富岡市につくられました。フランスの蒸気機関や繰糸器などが使われるなど、ヨーロッパの技術を取り入れました。富岡製糸場の大きな工場では300人以上の工女が一度に働くことができました。日本各地から集まった工女は、器械製糸技術を学び、多くはふるさとに帰って、その技術を伝えました。

最新の繰糸機が発明されると、富岡製糸場がすぐに取り入れ、他の製糸場のお手本になりました。

日本の技術とヨーロッパの技術を組み合わせて建てられた、繰糸所・西置繭所・東置繭所は国宝になっています。



比べてみよう！

これは、明治時代の富岡製糸場を描いた絵です。となりのページにある今の製糸場と比べてみよう。どんなことに気づくことができるかな？

むかしの製糸場ね
今とどこが違うかしら



世界遺産クイズ❶



明治時代の富岡製糸場では、工女さんたちの健康のためにある職業の人がいました。どんな人がいたのかな？

① 音楽家　② 医者
③ 美容師　④ 手品師

き めちしき

【官営模範工場】…明治政府がつくった民間のお手本となる工場のことです。

Q 田島弥平旧宅ってどんなところ？





A カイコが育ちやすい蚕室を開発



田島弥平旧宅は、カイコの卵をつくっていた田島弥平の家です。弥平は、よりよいカイコの卵をつくるために、カイコの飼い方を研究して、「清涼育」という空気の入れ換えを大切にした飼い方を完成させました。

そして「清涼育」を行うために、初めて２階の屋根に換気用の越屋根をつけました。この家の形は、弥平の家を見学に来た人や弥平が書いた『養蚕新論』などの養蚕の教科書によって全国に広まりました。



もっとくわしく

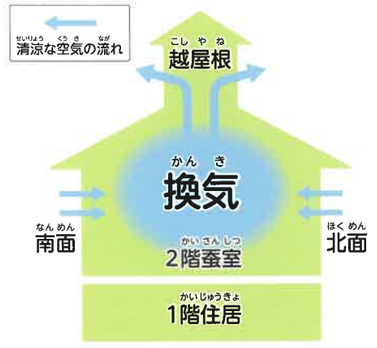
蚕室の空気の流れを考えてみましょう。



田島弥平が完成させた「清涼育」のしくみを見てみよう。２階の屋根の上につくられた越屋根の窓や、２階の窓を開けたり閉めたりして、空気を入れ換え、カイコが育ちやすい環境にしました。田島弥平旧宅がある島村という地域では、今でも大きな養蚕農家があります。



田島弥平旧宅の換気システム



世界遺産クイズ❷

イタリアに、カイコの卵を販売しに行った弥平や島村の人たちは、イタリアから持ち帰ったあるものでカイコの病気の研究をしました。何を使ったのかな？

① 顕微鏡　② 望遠鏡
③ 聴診器　④ 懐中電灯

きめちしき

【越屋根】…屋根の上につくられた小さな屋根のこと。田島弥平旧宅では総ヤグラ、高山社では、天窓ともいいます。

Q 高山社跡ってどんなところ？





A 新しい養蚕方法を教えた学校







高山社跡は、カイコの上手な飼い方を教える学校があった場所です。むかしは、カイコは「運の虫」といわれるほど飼うことが難しく、農家の人たちは困っていました。高山長五郎は、風通しをよくしたり火で部屋を暖めたりする「清温育」という新しいカイコの飼い方を開発し、高山社で生徒たちに教えました。

高山社には、日本全国や外国からも生徒が集まり、ここで学んだ生徒たちは、ふるさとに帰って清温育を広めました。カイコが病気になりにくい清温育が広がったことで、日本は質の良い生糸をたくさんつくれるようになりました。

もっとくわしく

高山社の蚕室には、清温育のための工夫がいろいろあります。工夫の意味を考えてみましょう。





越屋根

屋根の上に窓の付いた越屋根が3つあります。



火鉢

2階の床には火鉢を入れることができます。



蚕棚の下の換気口

カイコを飼った蚕棚の下は1階と2階がつながっています。

世界遺産クイズ❸

高山社に清温育を学びにきた人は、日本のほかには、どこの国の人だったでしょうか？

① アメリカ　② 中国
③ フランス　④ イタリア

きめちしき

【蚕室】…カイコを飼う部屋。換気など、カイコの成長に適した条件をそなえることが重要でした。

Q 荒船風穴ってどんなところ？



A カイコの卵を貯蔵した自然の冷蔵庫



荒船風穴は、岩の間から吹き出す冷たい風を利用してカイコの卵を貯蔵していた日本で一番大きな施設です。

むかしは、カイコを飼うことができるのは年１回でしたが、風穴でカイコの卵を冷やして貯蔵し、卵のかえる時期をずらすことで、年に数回、カイコを飼うことができるようになりました。そのおかげで、生糸のもとになるまゆをたくさんつくれるようになり、生糸の大量生産につながりました。

もっとくわしく

たくさんのカイコの卵を貯蔵できるよう３つも建物がありました。



荒船風穴は夏でも２～３℃の冷たい風が吹き出しています。この冷たい風を閉じこめた部屋をつくるために、むかしは石積みの上に建物がありました。





世界遺産クイズ Q

荒船風穴には、6kmほど離れた場所に春秋館という事務所がありました。こんなに離れている荒船風穴と春秋館でどうやって連絡をしていたのかな？

① 郵便　② インターネット
③ 電話　④ スマートフォン

きめちしき

【蚕種】…蚕の卵。
植物の種に似ていたことから、このように呼ばれました。

4 資産のつながり



富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴が協力してカイコの品種を改良しました。その結果、質の良いまゆがたくさんとれるようになりました。



むかしのまゆ　今のまゆ

世界

器械製糸技術の導入

生糸の輸出、自動繰糸技術の輸出、近代養蚕技術の普及

カイコの卵の貯蔵



荒船風穴

カイコの研究



富岡製糸場

カイコの研究



田島弥平旧宅

カイコの卵の貯蔵

まゆの売買

カイコの研究

風穴をつくるときに協力



高山社跡

建物の形を参考

カイコの卵の貯蔵

ぐんま絹遺産



上毛かるたにもあるように、むかしから絹産業が盛んだった群馬県には、４つの世界遺産の他にも、養蚕・製糸・織物に関係するたくさんの建物やお祭りがあります。群馬県は、それらの大切なたからものを「ぐんま絹遺産」として登録しています。



主なぐんま絹遺産

川場村 門前春駒

祈る　養蚕



春駒は新年に行う養蚕の豊作と家内安全を祈るお祭りです。

前橋市 旧蚕糸試験場事務棟（蚕糸記念館）

究める　研究



蚕糸試験場として使われた明治末期の建物です。養蚕や製糸の道具も展示されています。

高崎市 高崎地域の養蚕・製糸・機織資料

挽く　養蚕・製糸・織物



高崎市歴史民俗資料館が収集した養蚕・製糸・機織の道具です。

桐生市 旧曽我織物工場

織る　織物



1922(大正11)年に建てられた大谷石づくり5連ののこぎり屋根の織物工場です。

安中市 旧碓氷峠鉄道施設

運ぶ　流通



アプト式の仕組みで急坂を登り、大事な輸出品だった生糸やまゆなどを運びました。

中之条町 六合赤岩養蚕農家群

育てる　養蚕



国重要伝統的建造物群保存地区に指定された近代養蚕農家が立ち並ぶ集落です。

日本遺産
かかあ天下 －ぐんまの絹物語－

むかしから絹産業が盛んな群馬県の女の人は、養蚕・製糸・織物の仕事をし家族を支えていました。働き者の女の人たちを男の人は「おれのかかあは天下一」とほめ、これが「かかあ天下」として名物になり、働き者の女の人を紹介する言葉になっています。





主な構成文化財　「かかあ天下－ぐんまの絹物語－」には 13 の文化財があります。

片品村 永井いと像



永井いとさんは養蚕の先生として活躍しました。

中之条町 富沢家住宅



女の人たちがまゆの生産で活躍しました。

甘楽町 旧小幡組製糸レンガ造り倉庫



女の人たちが座繰りでひいた糸をこの倉庫で保管しました。

桐生市 織物参考館"紫"



女性従業員による染色や、古い織機などを見学できます。

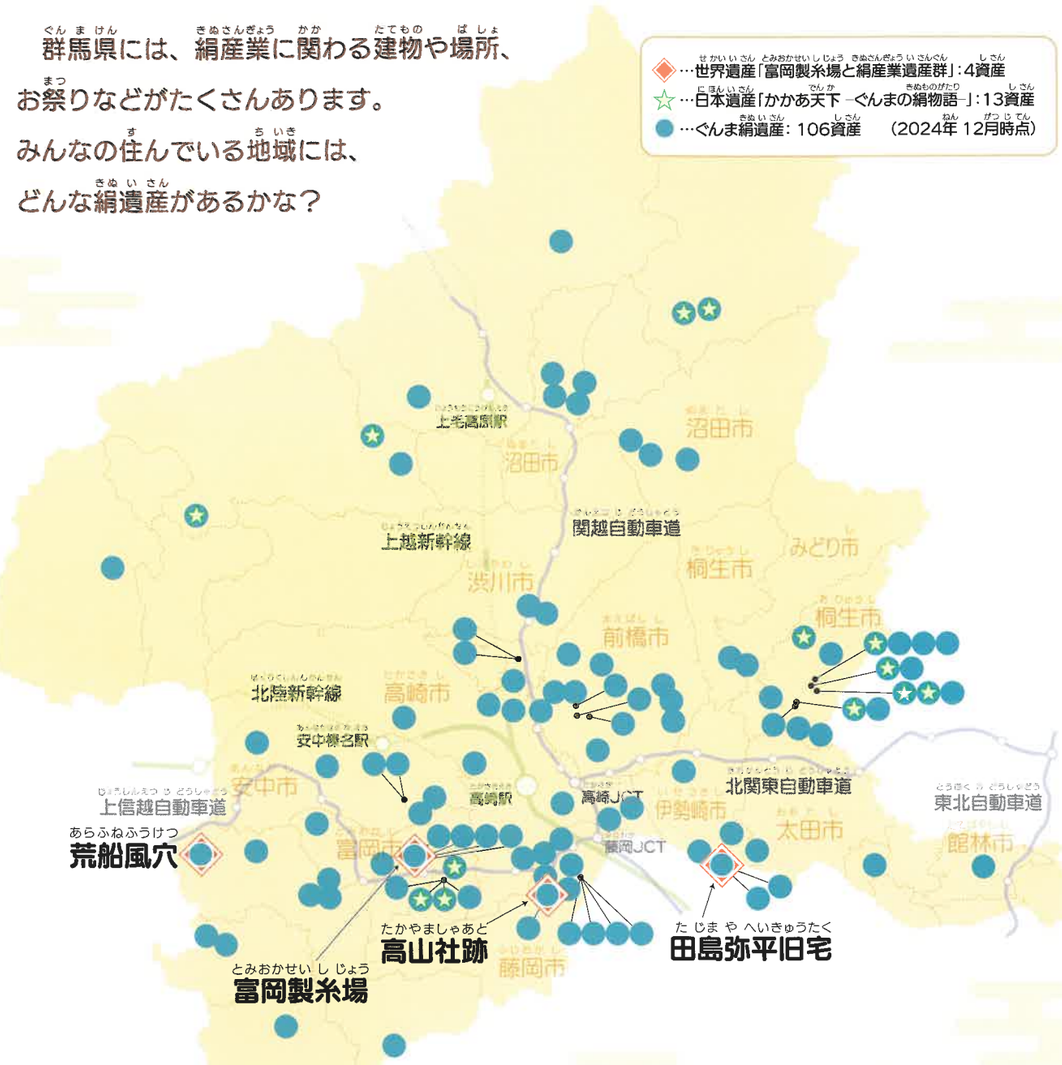
めちしき　【日本遺産】…地域の文化や伝統の魅力を物語として紹介するものです。



世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産マップ

群馬県には、絹産業に関わる建物や場所、
お祭りなどがたくさんあります。
みんなの住んでいる地域には、
どんな絹遺産があるかな？

◆…世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」：4資産
☆…日本遺産「かかあ天下 -ぐんまの絹物語-」：13資産
●…ぐんま絹遺産：106資産　（2024年 12月時点）





くわしくは、
群馬県立世界遺産センター
「世界を変える生糸の力」
研究所のホームページで
調べてみよう。

群馬県立世界遺産センター
公式ホームページ
「セカイト」で検索

周遊するには
アプリ「きぬめぐり」を
ダウンロード！

クイズのこたえ　クイズ1－②　クイズ2－①　クイズ3－②　クイズ4－③



行ってみよう
調べてみよう

じっさいに行って自分の目で見てこよう。
富岡製糸場と絹産業遺産群や
ぐんま絹遺産について調べてみよう。



アクセス情報

富岡製糸場

所在地　群馬県富岡市富岡1-1
時間　9:00～17:00(最終入場は16：30)
休場日　12/29～12/31
料金　大人1000円　高・大学生250円
小・中学生150円



田島弥平旧宅

所在地　群馬県伊勢崎市境島村2243
時間　9:00～16:00
休館日　12/29～1/3
料金　無料



個人宅のため見学するときはルールやマナーを守りましょう。

田島弥平旧宅案内所

所在地　群馬県伊勢崎市 境 島村
1968-40
時間　9:00～16:00
休館日　12/29～1/3
料金　無料



高山社跡

所在地　群馬県藤岡市高山237
時間　9:00～17:00 (受付は16：30)
休館日　12/28～1/4
料金　大人500円
高校生以下無料



高山社情報館

所在地　群馬県藤岡市高山217-1
時間　9:00～17:00
休館日　12/28～1/4
料金　無料



荒船風穴

所在地　群馬県甘楽郡下仁田町南野牧甲
10690-2外
時間　9:30～16:00 (受付は15：30)
閉館日　12/1～3/31は冬季閉鎖のため
見学不可
料金　大人500円
高校生以下無料



下仁田町歴史館

所在地　群馬県甘楽郡下仁田町下小坂71-1
時間　9:00～16:30
休館日　12月～3月は月曜日（祝日の場合は翌日）
12/29～1/3
料金　大人200円
高校生以下無料



群馬県立世界遺産センター　「世界を変える生糸の力」研究所

SEKAITO





群馬県立世界遺産センター「世界を変える生糸の力」研究所（略称「セカイト」）では、世界を変えた「富岡製糸場と絹産業遺産群」や群馬の絹文化をわかりやすく紹介します。

大型スクリーンで上映するガイダンス映像やパネル展示などで、初めて訪れる方も、より深く知りたい方も、楽しみながら理解を深めることができます。

所在地　群馬県富岡市富岡1450-1

時　間　9：00～17：00

休館日　毎月最終水曜日(12月～2月は毎週水曜日、祝日の場合は翌日)
12/29～12/31　その他臨時休館あり

料　金　無料

問合せ先　0274-67-7821

群馬県立歴史博物館



所在地　群馬県高崎市綿貫町992-1

時　間　9：30～17：00(入館は16：30まで)

休館日　月曜日(祝日の場合は翌日)　年末年始　その他臨時休館あり

料　金　大人300円　高・大学生150円
中学生以下無料　企画展は別料金

問合せ先　027-346-5522

群馬県立日本絹の里



所在地　群馬県高崎市金古町888-1

時　間　9：30～17：00

休館日　火曜日(祝日の場合は翌日)　年末年始　その他臨時休館あり

料　金　大人200円　高・大学生100円
中学生以下無料　企画展は別料金

問合せ先　027-360-6300



お富ちゃん



まゆダーマン



ぐんまちゃん
©群馬県



下仁田町イメージキャラクター
にゃくっち



くわまる
©伊勢崎市

発行：群馬県立世界遺産センター『セカイト』（令和8年1月）
画像提供：群馬県立歴史博物館　群馬県立日本絹の里　富岡シルク推進機構
伊勢崎市　藤岡市　下仁田町　広島県　姫路市